

野外では「生水を飲んじゃダメ」「遊んだら手洗い」とよく言われるよね。何の病気の予防かな？ コワイ相手のことを知ってきちんと備えましょう。

重カ物からうつる 病気を正しく知ろう

—エキノコックスと感染症— がんせんしょう



「エキノコックス」は北海道で気をつけたい寄生^{きせいちゆう}虫の一種です。キツネや犬の体の中で増え、その卵が人の口に入り、10年ほどで発病します。虫の卵と接触しないように気をつけること、検査を受けて早く発見することが大事！ これはキツネの餌付け、飼い犬の散歩…野生と人が出あうことで起きる病気です。

寄生虫だって生き物の一種です。生きて子どもを残すために活動しており、成虫はキツネやタヌキ、犬の腸に棲んで卵を産みます。卵はフンと一緒に野外に出て、これを口にした野ネズミの体の中で幼虫になります。ネズミは動きが鈍くなり、キツネに捕まりやすくなります。こうしてエキノコックスの寄生サイクルが繋がっていきます※。

※寄生とは、ある生き物が他の生物(宿主)から栄養を一方的にもらうことです。

エキノコックスの 生活は?



～感染源について～

ボクのとこに
エキノコックスを連れて
くるのはだれ？

感染源の多くは成虫に寄生されたキツネや犬です。北海道のキタキツネは60%、タヌキが10%、犬は0.5～1%が寄生されているといわれています。

ペットの犬でも、散歩中にネズミをくわえたり、なめたりして感染します。感染率は低いけれども、いつも一緒にいるので人がうつされる可能性は高い！散歩の時は気をつけて、検査も受けましょう。

道路や観光地で人に近づくキツネも感染源になります。かわいいけれどさわっちゃダメ！野生動物にエサをあげると、人に近づくようになるので絶対にやめましょう。



感染しないために… ～予防法～

ペットの犬は、寄生されているかどうかフンの検査でわかるし、駆虫薬で虫下しできます。キツネでも駆虫薬入りのエサをまく対策で効果が出ています。



私たちが気をつけたいのは野外の虫の卵を「口に入れない」こと。そのためには生水(野外の水)に気をつけるだけでなく、手洗いや靴の泥を落とすことが大切です。食べる前の手洗いのクセをつけましょう！



もっと
知りたい

エキノコックスの潜伏期は数年以上と長いので、血液検査による早期発見が大切です。病巣が小さいうちは手術などで完治します。現在は不治の病ではありません。

鳥から人にうつる 病気もあるよ

鳥インフルエンザもそのひとつです。渡り鳥を止めることはできないので、感染が広がる環境を作らないようにすることが大切です。気をつけたいのが餌付け。エサをあげると人と鳥が近づいてしまうし、たくさんの鳥が集まると一気に病気が広がる危険があります。エサ台や鳥小屋の掃除をしたり、鳥がたくさんいる場所を歩いたら、手や靴をよく洗いましょう。

エサを求めてこんなに多くの水鳥が集まっているよ
楽しそうに見えるけど、病気のキケンを考えるともワイ風景にも見えるね



もっと
知りたい

2006年に起きたスズメの大量死も原因は感染症といわれています。冬にエサ台に大群が集まり、フンなどを經由してサルモネラ菌などに感染したようです。過剰な餌やりをしない、エサ台の掃除後は手や靴をよく洗うなどの対策を。

エキノコックスは用心して予防し、早期発見で治る病気です。キツネだけが危ないとか、生水を飲まなければ大丈夫というものではありません。ニンゲンも生き物の一員。むやみに近づいたりしないで、そっと距離をおきましょう。

